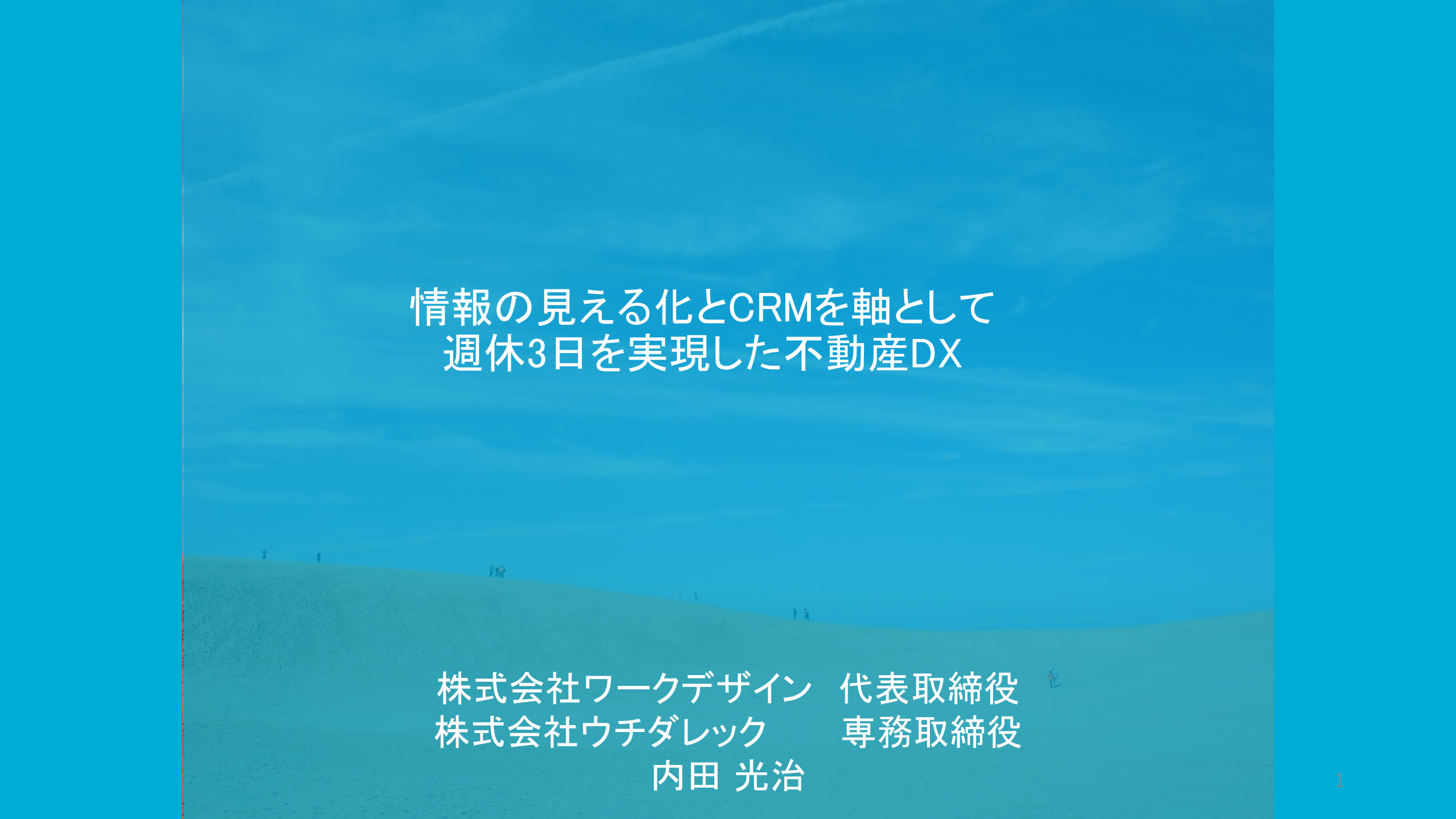


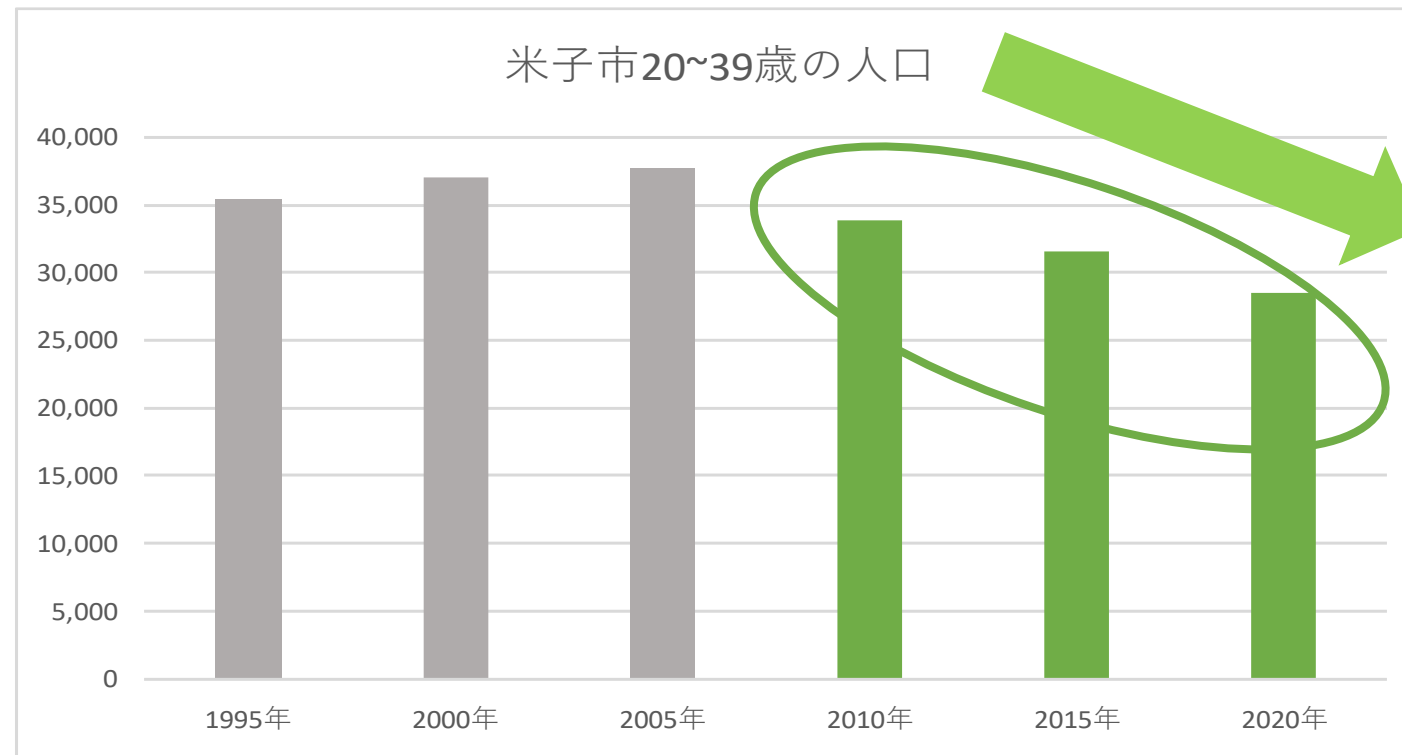


情報の見える化とCRMを軸として 週休3日を実現した不動産DX

株式会社ワークデザイン 代表取締役
株式会社ウチダレック 専務取締役
内田 光治

皆さんは、10年後も今の売上を落とさずに
経営できると言い切れますか？

メイン顧客の20代～30代は
2005年をピークに15年間で25%の人口減少



©2019 Uchidarec.inc

※出所「米子市人口統計」 2020年は推計

2009年 3,272万人



2050年 1,658万人

※出所「総務省統計局」



弊社では経営改革を行い、
不動産業界初の



週休

3日



営業利益

2.5倍



コスト

40%減



離職率

3%

を達成致しました。

カクシン
クラウド

これらのノウハウをまとめ、不動産会社の皆様の成長をサポートするために開発したのが、
カクシンクラウドです。

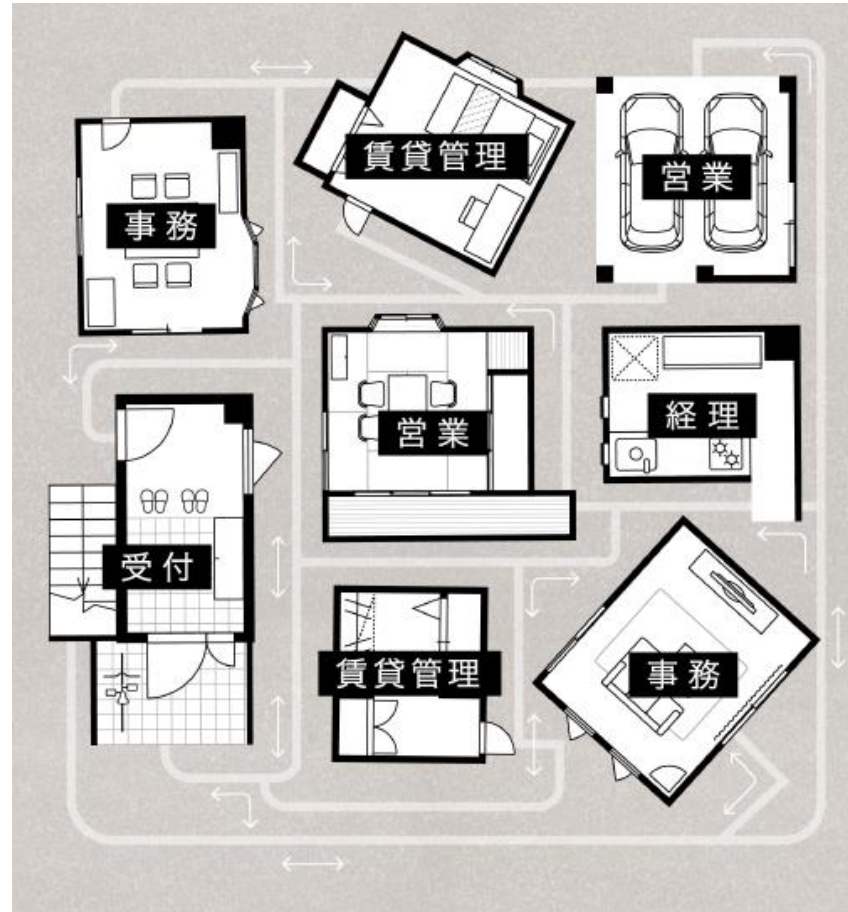
DXを行っても、時代が変わっても
変わらない私たちの価値

地元を愛し、地域と密着し、
入居者様とオーナー様をつなぎ、
土地・建物を正しい価値で流通させて
地域を活性化させる。
それがいまでも変わらない 不動産業の価値。

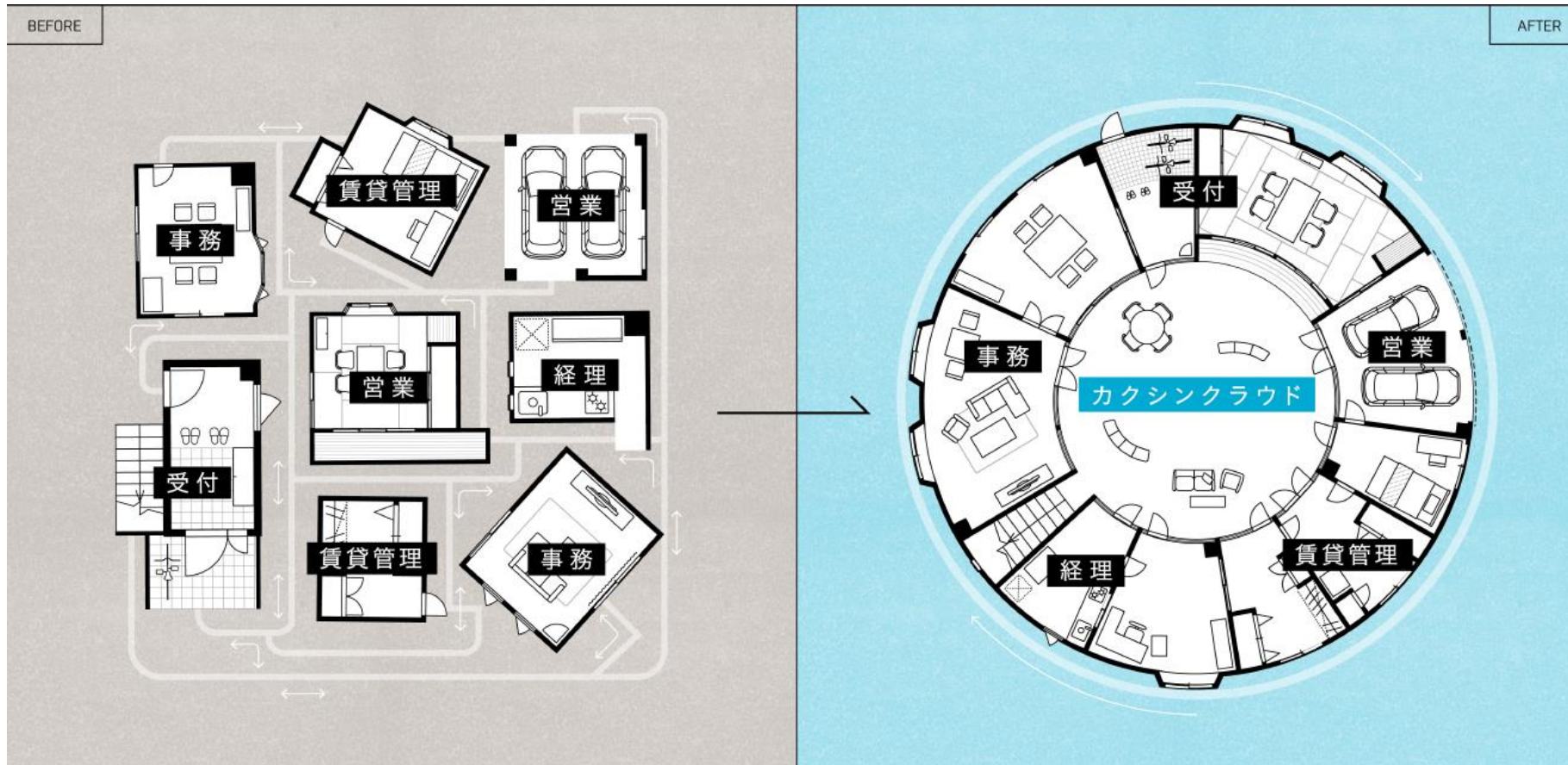
いま、さまざまなデジタルプラットフォームの登場で大量の情報が不動産業者に入ってきます。しかし、ユーザーからの問い合わせ情報を手作業で転記して、また違う形式になっていたり。受付から、営業、などの作業が細切れになって進捗が共有できないなど。手間だけ増えて作業に追われ職場環境を悪くしていることも。果たしてその大量の情報は不動産業の価値をあげているのだろうか？

そこで 地域の不動産業本来の価値を高める不動産DXサービス、
クラウド型賃貸管理システム「カクシンクラウド」
ユーザーとオーナーをシームレスにつなぎ、
来店申込み、入居の手続きまでの情報を一本化。
進捗が見える化されて、
お客様にいまどのようなアクションをすべきか社員全員で共有できる。
だから効率の良い、質の高い「密着」が可能に。
もちろん職場環境も向上します。

それぞれの部署がそれぞれの部屋に籠もってお仕事。



チームとして1 + 1を3以上にするには「情報の見える化（CRM）」が鍵

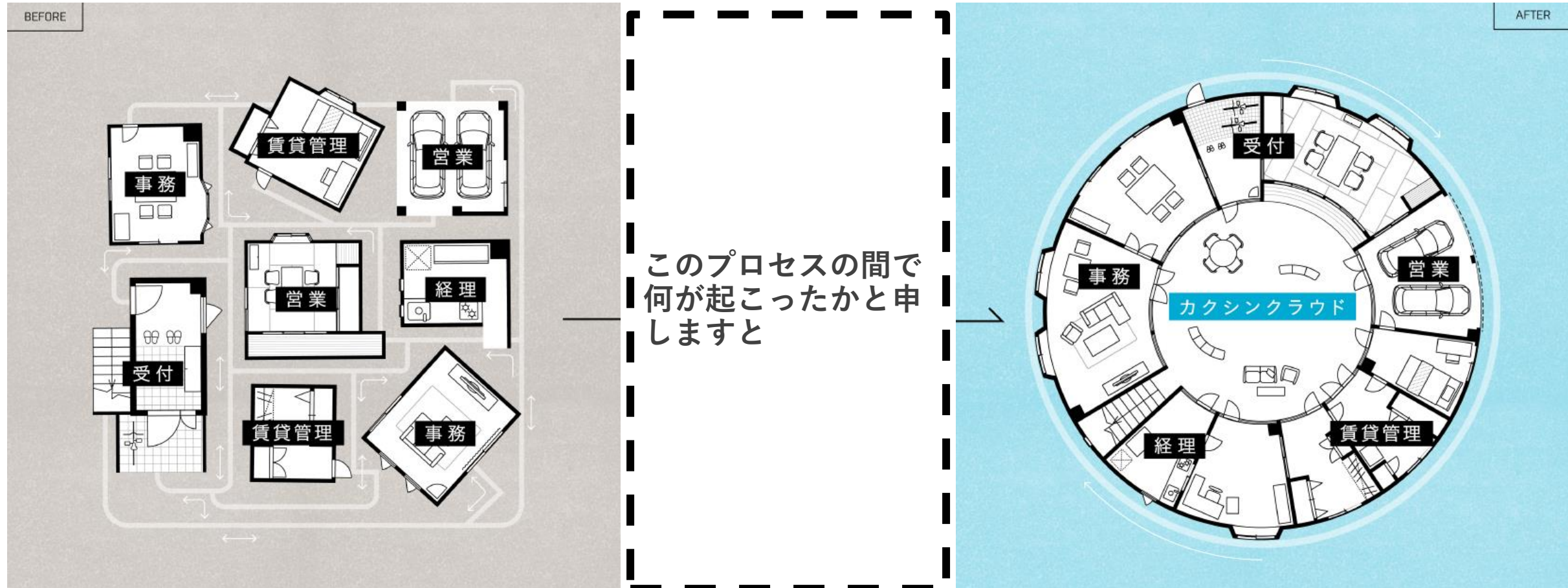


街の不動産屋さんをチームで効率化。



クラウド型賃貸管理システム
カクシンクラウド

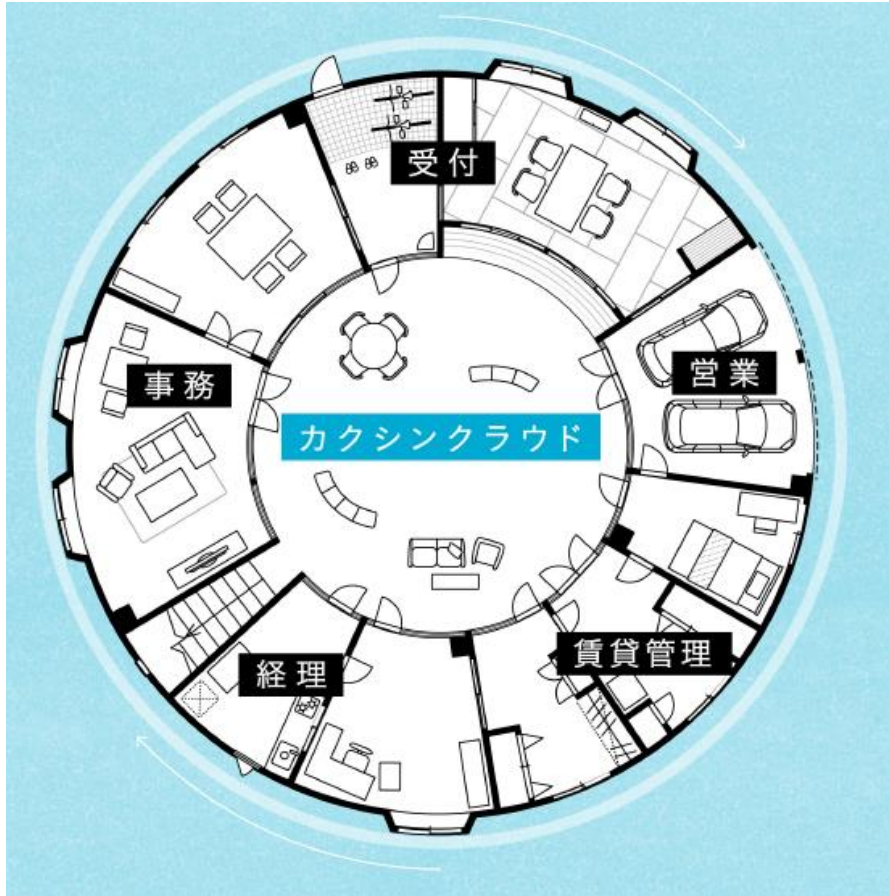
弊社のDXによる変化の途中で起こったこと



社員の激しい抵抗 (勘弁してほしい)



- ベテラン社員の大量退職
- 改革に不満を持つ社員が、お客様へ会社の誹謗中傷を伝える
- 日報では批判の嵐
- 朝礼で「変えてはいけないものもある」という捨て台詞を吐いて退職
- ウチダレックの後継者はだめだ、ウチダレックは危ないとの噂



紙をベースとした業界慣習（法制度含む）

個社ごとに構築するシステムでは負担が大きかった
（オンプレミス型システム）

IT人材（特に地方には）不在

法制度の改正
クラウドの普及
により解決の兆し！

紙の山、、



お客様の「今」の状況、会社の「今」の情報をリアルタイムで取得



例) 経費精算の方法
問い合わせの標準業務フロー
契約書作成のマニュアル
etc



不動産営業部(賃貸課) 不動産営業部(売買) カスタマーサポート部(CS) 建設・リフォーム部 総務経理部 業務課 システム開発課 採用 その他

CRMを活用したDXに付随して起こった効果

地方発のIT革新事例として取り上げられています。

引き継ぐ経営 勝ち抜くヒント

“イギイジダイ”



Keio Business School

慶應義塾大学大学院経営管理研究科



家庭の事情がある方でも、キャリアを諦めなくても良くなりました。

事例1)

家庭の事情で朝の定時に間に合わない、出社できないときがある。

→基本をリモートとし、出社できなくても仕事ができるように

事例2)

家庭の事情で昼間動くことが難しい。

→出社は月に数回、稼働時間は自由（夜でもOK）

先日の採用媒体による合同説明会では、
参加者の50%がウチダレックブースに来場

不動産業の価値を高め、
売上を伸ばし、地元に、社員に、
もっと愛される不動産業に。

不動産DXの目的はここにあります。

ご清聴ありがとうございました。

カクシン
クラウド

仕事のムダを
ゼロにする
超効率DXのコツ
全部教えます。

ワークデザイン代表取締役 内田光治
「早く教えて
欲しい...」

DX推進率
94%の集約の
不動産会社が実現した
奇跡の
効率化!

営業利益が増! 大幅なコストカット 離職率が激減 作業効率がUP

どんな中小企業でも
DX化は実現できる!